

HRAI Bulletin

月刊グローバル人事情報誌

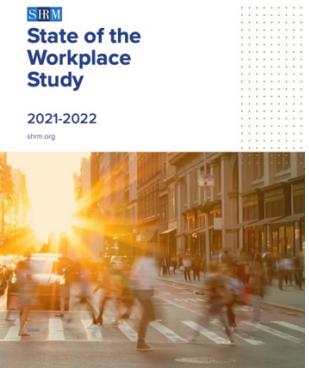
毎月1回 HRAI 人事資格認定機構より、最新の海外人事情報・新コラム情報などをお届けします。

海外人事最新情報

SHRM ホット・トピック

SHRM 職場の現状調査 2021-2022

SHRM では、アメリカにおいて、労働者と人事プロフェッショナルの大きな二つのグループ分けをして、職場の現状についての調査を行い、2021年のまとめと2022年の今後に向けての調査結果をレポートにして発表しています。数回に渡りその内容をお伝えしています。



2022年の行方：

米国人事、今年の優先課題

米国の人事プロフェッショナルは、今年の組織における優先課題は2021年に問題となった人財に係る挑戦(タレント・チャレンジ)に焦点を定めた行動であると回答。

- 1) 従業員のモラルとエンゲージメントの維持(80%)
- 2) トップタレントの維持(78%)
- 3) 必要なスキルセットを持った人財の獲得(68%)
- 4) コロナ禍における職場と安全の確保(62%)

2022年の第一の優先課題に挙げられた「従業員のモラルとエンゲージメントの維持」は、2021年の調査結果では、有効性順位(結果が出たか)では19位となっていたことからも、2021年に組織の取り組みの結果が十分出ていなかった分野を優先的に取り組もうという姿勢が見られます。

世界最大の人事コンフェレンス&EXPO
(<https://shrm.co/vwkn5u>) 2023年6月はLas Vegasで開催です。



SHRM22は6月にニューオリンズで開催されました。

SHRM22のテーマは、CAUSE the EFFECT「結果を生み出す」

今、HRが一致団結しなければ「結果を生み出す」ことはできないとして、DE&I、人財獲得と維持、職場文化、メンタルヘルスの分野で専門家を招いてのセミナーやワークショップが多数開催されました。

会場には世界中から1万5千人が集い、2万人がオンラインで参加しました。

HRAI 今月の最新コラム

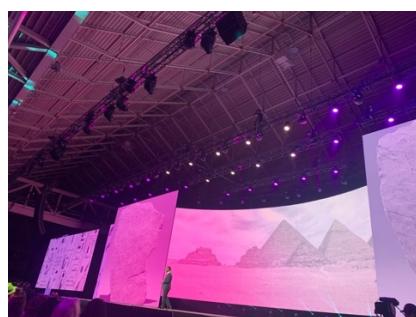
「**✗**ドライではない #2」

「共感～Empathy」を体現する人事は紀元前から。

SHRM 22レポート（ニューオリンズより）2022年6月12日～15日

<https://hr-ai.org/new-column/20220812/>

2019年くらいから、SHRMがキーワードとして提唱しているのは「**Empathy** エンパシー」職場における共感力です。誰が、何に共感するのか？筆頭に挙げられるのは、経営者が全従業員に「共感」する事です。「共感」は仕事の環境や状況、キャリアに関する事に留まらず、一人一人のライフ（人生）全てに関わることに共感をして、必要な手を差し伸べることであるとも言っています。



人的資本経営と日本的人事部【前編】

－日本の人事が忘れていること－

<https://hr-ai.org/new-column/20220808/>

人材の流動化と「Healthy Turnover(健全な離職率)」とは

HRAI 今月のアクティビティー

8月1日にHRAI オンラインサロンを開設いたしました。

<https://hr-ai.org/news-release/220808/>

8月のS SHRM Essentials 日本語プログラム

既に申し込みを締め切りました。9月以降の受講をご検討ください。

* **9月以降の講義についても受講お申し込み可能です。**

9/15&16 SHRM Essentials 日本語プログラム

10月毎週木曜午前4回 SHRM Essentialsバイリンガルプログラム

年間の講義スケジュール、受講申し込みはこちらから。

<https://hr-ai.org/>